

# レール工法・BOX用プレキャスト基礎板

## レール工法

### 工法概要

基礎コンクリート上の両側にレール(幅200mm)を埋め込み、そのレールに沿ってボックスカルバートを積載した台車をウインチで引き込みながら施工する工法です。

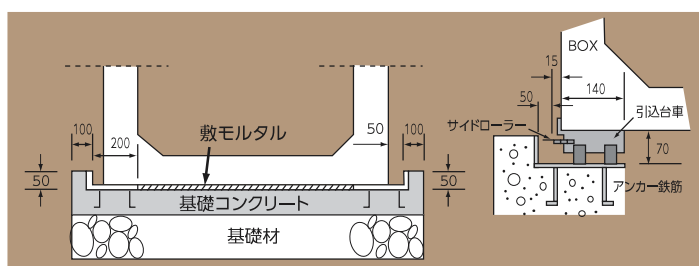
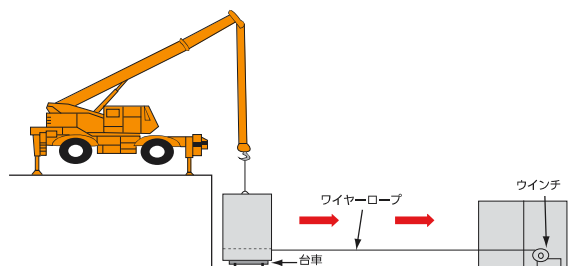
### 特長

トラッククレーンによる製品の荷卸し場所が1カ所あれば施工可能であるので市街地や高架下など、トラッククレーンが近寄れない場所及び道路幅が狭く、民家が接近しておりクレーン車の搬入が困難な場所などでは有効です。

### 施工順序

- ボックスの底版にウインチを取り付ける。
- クレーンで製品を吊りおろし、台車に乗せる。
- ウインチにより所定の位置まで移動する。
- ジャッキで製品を浮かせたら、台車を引き抜きゆっくり製品をおろす。

### 基礎図

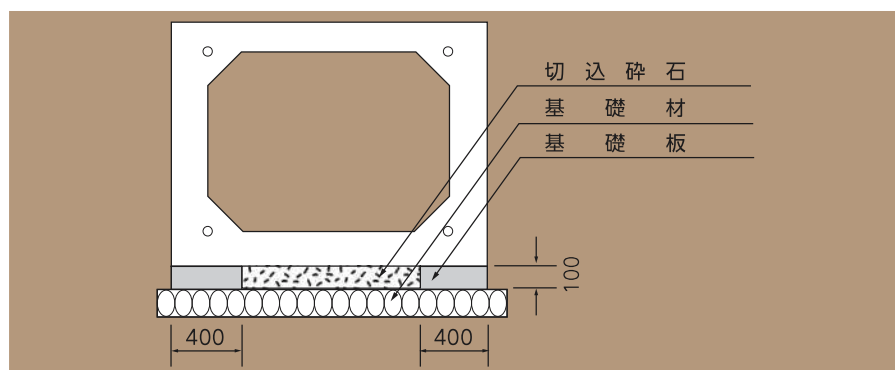


注) 鋼板レールの上面を、決められた高さの位置に取り付けて、コンクリートを打ち込むこと。

### BOX用プレキャスト基礎板

急速施工を必要とする場所、例えば道路横断とか現場打ちコンクリートの養生期間も取れないような工期の時には、基礎コンクリートの代わりに、プレキャスト基礎板を使用した直接基礎が用いられる。

### プレキャスト基礎板の施工例



### 形状・および寸法

